

此のマニュアルは、J A 2 M N B 平野 個人が、英語マニュアルから翻訳したものです。
内容が旨く翻訳されていない部分も有ると思いますがお許しください。

このマニュアルが各局の運用の一助になれば幸いです。

AR-Cluster User Manual

What is a DX Cluster? (DXクラスターとは?)

DX クラスターはアマチュア無線のネットワーク接続されているネットワークです。ユーザのクラスターへの接続は、地域、国および国際的レベルなどのようなエリアにも情報提供を生成するためにお互いにリンクされます。要するにアマチュア無線に関係する情報を共有するために接続しているユーザの広大なネットワークです。

DX クラスターへの接続は、通常は、インターネット上で Telnet を使用するか、または VHF/UHF 周波数において TNC/RF 装置を使用します。

★ クラスターへ接続した局に対し次の情報が提供されます。

DX Spots
WWV Spots
Talk, Announcements, and Mail
Weather and Emergency Services

★ DX クラスターはアマチュアオペレーションのため次のユーティリティを提供します

Callsign Lookup Database
QSL Database
Great Circle Heading and Sunrise Sunset calculations

What is AR-Cluster? (ARクラスターとは?)

AR-Cluster は 32 ビットのウインドウズ・プラットフォームに基づいた次世代 DX クラスター・システムです。AR-Cluster は、他の AR クラスターノードに接続するための接続機能も内蔵しています。インターネット Telnet による、または TNC/RF 装置によるユーザ接続も利用可能です。AR クラスターは、既存のクラスター・ネットワークへ容易に接続することが出来ます。

このマニュアルは、AR-Cluster ユーザ・コマンドに精通するのを助けることを目的としています。AR-Cluster は、新しい特徴およびコマンドが絶えず更新されています。従って、貴局のマニュアルが最新であることを確かめてください。このマニュアルにリストされたコマンドの幾つかのものは AR-Cluster 特有のもので、AR-Cluster ノードは、常に ID の終わりに "arc>" が付きます。

参考に制作者の Terry さんの HP をチェックしてください

<http://www.ab5k.net/>

私どもが運営する AR-cluster ノードです。Telnet を利用して接続してみてください。

<telnet://ja2yyf.d2g.com:23>

On-Line Help (オンラインヘルプ)

ON LINE HELPはHELPコマンドを使用して、クラスタへ接続した状況で利用できます。さらに、あるいは、HEをショートカットで利用してもしてもよい。

Examples:

```
help
help set
help show
```

AR-clusterは、簡単なヘルプロジックを持っています。ユーザは、次のようなコマンドを入力します。<DX 14000>、<DX JA1AAA>あるいは<DX> と入力するとDXに関わるコマンドのHELPが表示されるはずでず。

Examples:

```
Dx
dx 14000
www
```

任意のヘルプチップはSHOW/TIPコマンドで利用可能です。

Examples:

```
show/tip
```

Helping the Network

貴局がクラスタ・ネットワークからスポットを利用し、次に、情報を提供していただくことによってネットワークが今以上に充実するものになります。

Helping your Sysop (ご自由に翻訳してください)

Setting up and operating a DX Cluster takes and lot of time and expense on the part of the sysop. He has to maintain computers, radios, TNCs, software, Internet connections and additionally updates to callsign databases. Expenses can add up very quickly. Let your sysop know that you support him with an occasional thanks and by kicking in some money into the cluster maintenance fund.

K8SMC Newsletter

Terry K8SMCは、ARクラスタに関する情報を提供するユーザーニュースレターを運営しています。現在400人以上の加入者がいます。詳細は彼のウェブサイト上にあります。

<http://www.k8smc.com/>

Connecting to a DX Cluster (DXクラスターに接続するには)

クラスターへ接続する為のセット・アップ、Configuration 等いくつかの方法です。貴局が最初にログインすると、名前、QTHを入力、そして確認するように依頼されます。貴局のコールサインがアメリカかカナダであれば AR クラスターは、AR-technology Callsign Database からの情報に基づいて貴局の名前およびQTHは自動的に設定します。それ以外の各局は自分自身で入力し、データを確認し変更があれば変更してください。

Packet Connection (パケット通信で接続)

パケット通信は、AX25 プロトコルを使用します。貴局の TNC に依り送出された CONNECT コマンドは、クラスターへ貴局を接続するでしょう。TNC Configuration はパケットオペレーションのためにパラメーターをセット・アップすることを有しております。詳細は TNC マニュアルを参照してください。TNC でコールサインをセット・アップしたことを確かめ、貴局のローカルのクラスターへ接続するためには、クラスターの運用周波数に貴局の無線機の周波数をあわせ接続してください。いくつかのノードは JA2MNB-9 のようにコールサインの後に SSID を使用します。現在、JA2YYF ではこの機能は利用できません。

Example:

```
connect JA2YYF
connect JF2GWS-5
```

Telnet Connections (インターネット TELNET で接続)

インターネットに接続された機器においては、簡単に Telnet クライアント・セッションをスタートしクラスターの IP アドレスに接続を開始してください。

Example:

```
telnet://ja2yyf.d2g.com
```

そうすると次のようなログインメッセージが表示されるはずです：

```
*** Connected to: JA2YYF
```

```
Welcome to the JA2YYF AR-Cluster node Telnet port!
```

```
Please enter your call:
```

ここで接続のためのコールサインを入力してください。

Fabrizio、IK4VYX の制作した DXtelnet は、次の SCRIPT で AR-Cluster へ接続できます

```
/T 5
/S !!!$$$$
/W de
/S !!!
/P de
/F JA2YYF
```

Disconnecting (ディスコネクト 切断)

ログアウトするには、BYE あるいはQUIT コマンドのいずれかを送ってください。もしTelnet で接続していれば、Telnet soft を切断することによって自動的に終了することができます。パケットを使用して接続していればTNC のDISCONNECT コマンドを使用して切断します。

User DX Spots (ユーザーDXスポット)

DXスポットは、アマチュア無線局に関する重要な次の情報を共有します。コールサイン、周波数、日付、時間およびオプションのコメントです。この情報はコンテスト中、あるいは、運用の少ないレアなエンティティ一等アマチュア無線家にとって大変重要なものばかりです。DXスポットは、様々なDXクラスタ、およびクラスタに接続された多くのユーザによって共有されています。DXクラスタへ接続することによってそれらをリアルタイムにスポットされた情報として得ることができます。さらに、過去のDXスポットの結果をデータベースにより求めることができます。あなたがユーザ・フィルタを利用すればリアルタイムSpot、データベースに依って求められる情報を収集することができます。さらに、貴局がネットワークへDXスポットを流すこともできます。クラスタ・ネットワークは、皆さんのスポットに依存することを覚えておいてください。DXspotを利用して運用されているアマチュア無線の仲間の現況を理解してください。質問とコメントはAnnounce機能を利用して通常行われます。DXspotを利用してコメントを送るためには、そのバンドの一番下の周波数(ex 14000.0)を利用して行うのがいいと思います。

Real-Time DX Spots (リアルタイムDXスポット)

貴局が、DXクラスタへ接続すると、自動的にDXspotの受信が始まります。これらのスポットはそれぞれのユーザーに基づいてフィルタを設定して通過させることができます。このマニュアルのフィルタ・セクションは利用可能な様々なフィルタオプションについて記述しました。ARCノードは、コメントフィールドに余裕があれば、スポットのために、エンティティ省略記号(GTY)を示します。GTY表示はオプションで、下記コマンドによってコントロールされます:

Examples:

```
set/nodxscty
set/dxscty
```

ARCノードは、さらにスポットの終わりにスポッター(情報提供者)の国(GTY)か州を表示します。DXスポットの終わりに、スポッターの州か国の表示は、ロギングソフトおよびコンテスト・プログラムでは一部問題が発生するかもしれません。そのような場合は下記コマンドで表示したり止めたりすることができます。

Examples:

```
set/nodxsqth
set/dxsqth
```

リアルタイムのDXスポットの表示は下記コマンドで制御することができます。

Examples:

```
set/nodx_announcements
set/dx_announcements
```

Normal DX Spots Queries

過去にスポットされた情報を調べたい時の、コマンドはSHOW/DXです。他の引数は無しです。私どもJA2YFでは、通常15局に設定してあります。

Example:

```
show/dx
```

これより多くのスポットを見たい場合、さらに、SHOW/DX/nm でのようなコマンドの終了へオプションの数を加えることができます。これは、最新の20、30の情報を見ることが可能になります。

Examples:

```
show/dx/20
```

```
show/dx/30
```

バンドあるいは周波数のいずれかを加えることによりバンド毎のスポットを表示することができます。

Examples:

```
show/dx 14 OR show/dx 20
```

```
show/dx/20 21 OR show/dx/10 15
```

```
show/dx/20 28 OR show/dx/20 10
```

さらに、スポットされたコールサインを確実にチェックすることも可能です。

Examples:

```
show/dx v73aq
```

```
show/dx/10 k5k
```

さらに、特別の国のスポットをチェックすることも可能です。プリフィックスの後に<*>をつけてください。コールサインから抽出された国からのスポットをすべて表示します。マーシャル諸島からのスポットをすべて表示するには:

Examples:

```
show/dx v73*
```

```
show/dx/20 V73AQ*
```

さらに、指定された周波数範囲を指定してDXスポットをチェックすることができます。

Examples:

```
show/dx 21000-21050
```

```
show/dx 80 (3490 <> 3600)
```

```
show/dx 75 (3600 <> 4010)
```

```
show/dx 3 (3490 <> 4010)
```

さらに、特定のバンドおよびコールサインによってDXスポットをチェックすることができます。

Examples:

```
show/dx 12 vk0hi
```

さらに、特定のバンドおよび国によってDXスポットをチェックすることができます。

Examples:

```
show/dx 12 vk
```

貴局が数分間クラスタをログオフし、次に接続したならば、SHOW/DX MISSED コマンドで最後のログアウト以降のスポットのリストを表示することができます。

Examples:

```
show/dx missed
```

SHOW/ZONE コマンドでは特別の CQ ゾーンのスポットのリストを表示することができます。

Examples:

```
show/zone 18
```

SHOW/ITU コマンドでは特別の ITU のゾーンのスポットのリストを表示することができます。

Examples:

```
show/itu 32
```

SHOW/DX STATS コマンドは、一ヶ月間選択された範囲でのDXスポットの合計を表示します。

Examples:

```
show/dx stats
```

Formatted DX Spots Queries (種々な情報の見方)

DXスポット・フォーマットは、リアルタイムスポットあるいはSH/DX コマンドで取得したスポットではスポットの形式が異なります。これは、古いスポットと新しいリアルタイムのスポットを区別することを可能にするために設計されています。

SH/FDX コマンドは、SH/DX コマンドに置き換えることができます。表示はリアルタイムスポットのフォーマットと同じです。現時点でのDXフォーマットでのスポットを、貴局がコンテストプログラムに必要とするならば、これは必要不可欠です。

Examples:

```
show/fdx/20  
show/fdx/30 v73aq
```

SH/FZONE および SH/FITU は、CQ ゾーンおよび ITU ゾーン・スポットを表示するためのコマンドです。

Examples:

```
show/fzone 18  
show/fitu 32
```

Advanced DX Spots Queries

AR-Cluster は、さらにユーザがSQLを使用して、DXスポットをプログラムすることを可能にします。SQLは非常に強力で、貴局がDXスポット・データ・ベースに情報を尋ねるカスタム・コマンドを構築することができます。数種類の簡単な例を下記に表示しておきます。SH/DX コマンド等がそうであるように、DXスポット・データ・ベース中のフィールドのうちのどれにでも対応します。DTS が日付-時間-stamp であることに注意してください。

Examples:

```
sh/dx/10 where dx = 'XZ0A'
```

sh/dx/50 where freq > 50000.0 and freq < 54000.0
sh/dx/50 where cty = 'V7'
sh/dx/50 where spotter = 'N5CQ'
sh/dx/50 where FromNode = 'WU3V'
sh/dx/50 where CqZone = '23'
sh/dx/50 where ItuZone = '64'
sh/dx/50 where Band = '12'
sh/dx/50 where Mode = 'CW'
sh/dx/50 where SpotterCty = 'VE'
sh/dx/25 where SpotterSubCty = 'TX'
sh/dx/30 where Comment = 'RTTY'
sh/dx/50 where DTS > #2/1/00# AND DTS < #5/1/00#
sh/dx/50 where DTS > #2/1/02 11:00am# AND DTS < #2/1/02 12:00pm#

さらに、LIKE およびワイルドカードを使用してもよい。“QSL”コメント等、部分的な適応を行うために、次の例を使用します。

Example:

sh/dx/50 where comment LIKE '%QSL%'

貴局は、指定した局の日付と時間によるスポットを取得するために SQL ORDER BY DTS ASC 使用することができます。通常、最新のスポットが最初に表示されますが、このコマンドを使用することによって、古い順番に表示することができます。

Example:

sh/dx/30 where DX = 'XZ0A' ORDER BY DTS ASC

SQL は、1 つないし 2 つ以上のコマンドを組み合わせるにより生成することができます。

Examples:

sh/dx/50 where Mode = 'CW' AND Band = '10' AND spotter = 'N5CQ'
sh/dx/50 where dx = 'FO0AAA' AND DTS > #2/1/00# AND DTS < #5/1/00#
sh/dx/50 where dx = 'FO0AAA' AND comment LIKE '%QSL%'

高度な DX スポット問い合わせに利用可能なデータ・ベース・フィールドは次のとおりです:

Dx	Callsign of the spotted DX
Cty	Country of the spotted DX ? follows ARRL.CTY file
Freq	Frequency of the spotted DX Example 14195.0
Comment	Comment in the spotted DX
Spotter	Callsign of the spotter
FromNode	Callsign of the spotting node
DTS	Date-Time-Stamp
CqZone	CQ zone for the spot
ItuZone	ITU zone for the spot
Src	AR-Cluster tag indicating the spot source for spot suckers, UserSpot = 0, PC26Spot = 1, OH2AQSpot = 2, and MIRCSpot = 3
Bnd	Band for the spot Example 20
Mode	Mode for the spot Example SSB
SpotterCty	Country of the spotter ? follows ARRL.CTY file
SpotterSubCty	State of the spotter ? from the AR-Technology callsign database

SrcStation	Node/Station that we received the spot from
------------	---

Spotting DX (DX情報の入力)

DXスポットを送出するためには、DXコマンドを使用してください。シンタックス・オプションは下に表示しました。

Example:

dx frequency callsign (optional comment)

dx callsign frequency (optional comment)

周波数パラメーターはメガヘルツまたはキロヘルツであり、アマチュア局の運用周波数です。コールサインは、貴局が交信、又は受信したアマチュア局のコールサインです。コールサインは最大12文字です。オプションのコメントはステーション名、QTHあるいはQSL情報を伝えるためにあります。SPOTするとき、コールサインが先か周波数が先か忘れてしまっても気にしなくても問題ありません。AR-CLUSTERは自動的に判断して情報を送出します。

Example:

dx 14088.8 ja1bn

dx ja1bn 14088.8

POSTされた、DXスポットはネットワーク中のすべてのステーションへ情報として送出されます。またこの情報は確認のため貴局へも反復します。

コンテスト・ソフトウェアからのテスト・スポットを行う必要がある場合は、“TEST”を送出してください。それはネットワークの全体へ送られない規定された文字列です。それは確認のために貴局へは反復されません。

WWV

DXクラスタへ接続するとリアルタイムのWWVスポットの情報を受信することができます。さらに、過去のWWVスポット情報の結果をデータベースから検索することができます。ユーザとして、さらにネットワークにWWVスポットを送出することができます。各WWVスポットの時間は、00、03、06、09、12、15、18、21です。情報は下記のURLを参照してください。

<http://www.sec.noaa.gov/NOAAscales/index.html>

Real-Time WWV Spots

D X クラスタへ接続すると、ネットワークへ送出された WWV スポットを自動的に受信できます。WWV スポットの表示は下記コマンドでコントロールすることができます。

Examples:

```
set/nowwv_announcements
```

```
set/www_announcements
```

WWV Spots Queries

SHOW/WWV コマンドは過去の WWV スポットの結果をデータ・ベースにより提供されます。最新 5 つの WWV スポットを下記のコマンドで受信することができます

Example:

```
show/www
```

5 回以上の WWV スポットを必要とする場合は、コマンドの後にオプションで必要な数を加えてください。

Example:

```
show/www/10
```

```
show/www/20
```

Spotting WWV

WWV スポットを送出するためには次のシンタックスに情報を詳細を入力する事でできます。

```
wwv sf=nn,a=nn,k=nn,comment
```

Example:

```
wwv sf=174,a=2,k=3,very low;gf quiet
```

Solar Monitor

いくつかのもの AR クラスタノードは、ソーラーモニターからソーラー情報を特別に受信しています。詳細はシスコペトとコンタクトしてください。AR クラスタバックボーンソーラーモニター・スポットの提供においては K 1 T T T に感謝致します。一般的な WWV のアナウンスメントは次のような拡張されたテキストで表示します。

Example:

```
★To SOLAR de SolarMonitor <0303Z> :? WWV @ 0302Z :??? SFI =? 177? A =? 5? K =? 1?
```

```
★To SOLAR de SolarMonitor <0303Z> :? Last 24 Hours:? Solar activity was low.? The geomagnetic field was quiet to unsettled.
```

```
★To SOLAR de SolarMonitor <0303Z> :? Next 24 Hours:? Solar activity will be low.? The geomagnetic field will be quiet to unsettled.
```

特別アナウンスは、さらに次のように表現されます。

Example:

```
To SOLAR de SolarMonitor <2205Z> :? ALERT? M-Class flare in progress, current magnitude = M1.0
```

Announcements (アナウンスメント)

アナウンスはネットワークに接続しているすべてのユーザにとって重要な情報かもしれません。一般的な情報を提供してください。DXクラスタへ接続することによって、リアルタイムの情報を得ることができます。さらに、過去のアナウンスの結果をデータ・ベースから得ることもできます。さらに、ネットワークへアナウンスを送出することができます。アナウンスはネットワークに、接続されている単一ノード、又は特定の地域のノードに対して設定することができます。

Real-Time Announcements

DXクラスタへ接続すると、自動的にアナウンスメントを受取ることができます。リアルタイムの情報の表示は下記コマンドでコントロールすることができます。

Examples:

```
set/noannouncements  
set/announcements
```

Normal Announcement Queries

SHOW/ANNOUNCEMENTS コマンドで以前の情報のリストを取得することができます。リストの番号は sysop によってセットされます。ユーザーフィルターによって表示は設定されます。

Example:

```
Show/announcements
```

これより多くのアナウンスメントを見たければ、さらに、SHOW/ANNOUNCEMENTS/mn のようにオプションの数を加えることができます。これは、貴局が新しい 20 あるいは 30 のアナウンスを表示させることを可能にします。

Examples:

```
show/announcements/20    or    sh/ann/20  
show/announcements/30    or    sh/ann/30
```

Advanced Announcement Queries

AR クラスタは、さらにユーザが SQL を使用して、アナウンスメントの内容を指定してプログラムすることを可能にします。SQL は非常に強力で、貴局が必要とするアナウンスメント、スポット・データ・ベースを検索するカスタム・コマンドを構築することができます。下記は一つの例です、いくつかの SQL の基本を set するにはそれほど難しくはありません。アナウンスメントスポット・データ・ベース中のフィールドのうちのどれにでも該当します。

Examples:

```
sh/ann where ANN = 'CQ CQ CQ WSJT, for DXCC via cluster'  
sh/ann where FROMCALL = 'K5UTD'  
sh/ann where FROMNODE = 'K5DX'  
sh/ann where SpotterCty = 'K'  
sh/ann where SpotterSubCty = 'TX'  
sh/ann/30 where SpotterSubCty = 'TX' OR SpotterSubCty = 'OK'
```

さらに、LIKE およびワイルドカードを使用して検索することもできます。"QSL"コメント等、部分的な適応を行

うためには、次の例を参考にしてください。

Example:

```
sh/ann where ANN LIKE '%QSL%'  
sh/ann/30 where ANN LIKE '%QSL%'
```

アナウンススポットの Query に利用可能なデータ・ベース・フィールドは次のとおりです:

FromCall	Callsign that originated the spot スポットをしたコールサイン
ToFlag	Field indicating who the spot is directed to スポットが誰に向けられるか表示
Ann	Announcement message メッセージ
SysopFlag	Flag indicating a sysop announcement sysop に対する announcement を表示
FromNode	Node that originated the announce spot 何処のノードから来たか
SrcStation	Node that we received the spot from ノードが何処の局から受け取ったか
DTS	Date-Time-Stamp 日付タイムスタンプ
SpotterCty	Country of the spotter ? follows ARRL.CTY file spotter のエンティティ、ARRL.CTY ファイルに基づきます
SpotterSubCty	State/Province of the spotter spotter の州

Making Announcements

ANNOUNCE コマンドはネットワークで指定された一般的な情報を作成するために使用されます。DXクラスタのユーザへの情報を提供するためです。

Example:

```
announce Ten meters is open to the Pacific  
announce/local Ten meters is open to the Pacific
```

全体のネットワークのユーザへアナウンスする時には、FULL を使用してください。

Example:

```
announce/full anyone know the QSL info for K5K?  
announce/full Six is open to Europe
```

特定のDXクラスタに接続されたユーザにアナウンスメントを送るためのアナウンスコマンドです。

Example:

```
announce/K5AB Is anyone hearing the DX on 1.833?
```

Regional Announcements (USA関連のコマンドです)

Regional announcements are used to make directed announcements to selected nodes and users. In Texas, the following regions are defined:

AUS – Austin, Tx - Clusters (AB5K, K5NA, K5AB and N5UXT)

CTDXCC – Local DX and Contest Club – Clusters (AB5K, K5NA, K5AB and N5UXT)

STX – South Texas – Clusters (AB5K, N5UXT, K5NA, K5AB, KA5EYH-2 and W5BE)

TX – Texas - Clusters (AB5K, N5UXT, K5NA, K5AB, KA5EYH-2, W5BE and N1EW)

Each node has both a routing and a distribution list for each regional announcement command. The distribution list keeps announcements local and not accessible to out-of-area users who may telnet into a node. The local Austin users chat back and forth on the 4 Austin nodes as follows.

Examples:

a/aus Good morning!

If a user wanted to make a wider announcement to participating nodes and users in the state of Texas as follows.

Examples:

a/tx Anyone in texas hearing the weak signal on 1.833?

Weather Announcements

現在、日本国内では利用されていないコマンドです。省略させていただきます。

Talk (トーク)

Talk Command

トークモードは、ネットワークの中で接続している特定のユーザのもとへコメントを送るために使用されます。トークメッセージは、常識ある内容を送ってください。

Examples:

talk k5xh hello mark

talk k5as are you around

貴局は、更にメッセージ・ライン・ブランクを残すことによりユーザとトークセッションを始めることができます。このモードにおいては、タイピングしたものはすべてユーザのもとへ送られます。次のコマンドを打つ

までトークモードを続けることが可能です。“/EXIT”又は“ctrl-Z”の入力によりトークモードから抜け出すことができます。(カンファレンスモード)

Examples:

```
talk k5xh
congratulations on working the kh5
see you later, 73
/exit
```

一方、トークモード中においても DX および他のクスタ情報を受信する事は可能です。又、コマンド実行中であつてもコマンドの最初に ‘*’ を付ける事によってDXコマンドを実行することができます

Example:

```
*dx kh5k 14025.0 listing up
```

貴局は、TALK/TIMESTAMP コマンドを使用することで、現在の日付および時間のついたメッセージを送ることができます。(16. Sept. 2002 現在 未確認 表示しません)

Example:

```
talk/timestamp n3bb are you there jim?
```

貴局は、SHOW/TALK コマンドで過去のトークメッセージを確認することができます。表示番号は sysop によってセットされます。コマンドの後にオプションの数を使用して表示されたメッセージの数を増加させることができます。

Examples:

```
show/talk
show/talk/10
show/talk/20
```

さらに、貴局に対するトークメッセージを下記のコマンドでON/OFFすることができます。

Examples:

```
set/talk
set/notalk
```

Talk Routing

殆どの場合、メッセージは、特別なルーチンを必要とせず自動的にネットワークによって配信されます。あるネットワークでは、ユーザ接続が報告されません、これらの状況下では、ユーザが SET/HOMENODE コマンドでネットワーク・データ・ベースに HOMENODE を公表すれば、トークメッセージのルーティングは行うことができます。ユーザコールがコネクト表示、レポートされ無い場合登録されたホームノードがネットワークに接続されていれば、トークメッセージは配信されるでしょう。この場合は下記のように表示されます。

```
CALL not visible, directing talk to home node
```

ユーザは HOMENODE を設定しても、ホームノードがネットワークの中で接続されていない場合は、トークメッセージは配信しません。この場合は次のメッセージが表示されます。

```
Sorry CALL and his home node, are not connected
```

ユーザが接続されておらず、さらに、ホームノードが登録されていない場合は、勿論、トークメッセージは配

信されません。この場合は次のメッセージが表示されます。

Sorry CALL not connected and has no home node listed. Talk aborted

特別のフラグ文字“>”を使用することにより特定のノードに直接メッセージを送ることができます。その“>”文字は、特定のノードヘトークコマンドを送信します。メッセージのシンタックスは次のとおりです。

TALK CALL >VIA-NODE MESSAGE

Example:

talk k5xh >k5hog u there mark

Conference mode

カンファレンスモードは、多数のステーションがトークセッションに同時に参加することを可能にします。終了するには/EXITです。

Example:

**conference
k5k listing on 205
now on 210
213
/EXIT**

カンファレンスモード中、DXスポットコマンド “*” を利用して行うことができます。

Example:

***dx k5k 14033.0 listing up**

User Information (ユーザー情報)

DXクラスタのユーザー情報は、幾つかのコマンドを利用して取得が可能です。さらに、自分個人のユーザー情報を更新することができます。

Displaying User Information

SHOW/STATION コマンドは局に関する情報をネットワーク・データ・ベースから取得し表示するためのものです。位置、緯度、経度、電子メールアドレス、そして最近アクセスした日付と時間を表示します。また、その局への距離、方向も計算され、データ・ベース上で位置の登録をすることもできます。ネットワークに接続されている場合、接続ステータス(ユーザあるいはノード)も表示されます。SHOW/STATION コマンドは、現在のものではなく過去の接続情報も確認することもできます。

Example:

show/station nx5m

SHOW/LOCATION コマンドは緯度および経度に関するネットワーク・データ・ベースからの情報を表示するために使用することができます。

Example:

```
show/location k5dx
```

SHOW/HOMENODE コマンドは、ホームノードに関するネットワーク・データ・ベースからの情報を表示するために使用することができます。

Example:

```
show/homenode n3sl
```

SHOW/EMAIL コマンドは、E メールアドレスに関するネットワーク・データ・ベースからの情報を表示するために使用することができます。

Example:

```
show/email n2la
```

SHOW/QRA コマンドは、QRA に関するネットワーク・データ・ベースからの情報を表示するために使用することができます。

Example:

```
show/qra n3bb
```

SHOW/PREFIX コマンドは、コールサイン、又はプリフィックスをデータベースにて計算しエンティティ情報を表示します。エンティティ名、CQ/ITU ゾーンも表示します。

Example:

```
show/prefix v73c
```

SHOW/HEADING は、自局から指定した局への方向および距離を表示します。貴局が SET/LOCATION コマンドで自局の位置を設定する必要があります。それを指定したならば、率いる計算はあなたの緯度/経度の情報を使用します。情報が入力されていなければ、貴局が接続しているノードの位置を使用します。目的の局のユーザーインフォデータベース上で有効な緯度/経度が見つかった場合は、方向および距離が表示されます。又、ユーザーインフォデータベース上で見つからない場合、エンティティのプリフィックスで、方向および距離が表示されます。ユーザは、エンティティの正確なプリフィックスを知る必要がありません、V7、V73、V73AQ、すべて検索します。ロングパス、ビーム方向、も表示されます。

Example:

```
show/heading v73c
```

双方の局の LAT/LON 情報がデータ・ベースに入力されている場合は、距離および関係は計算され、以下のように表示されます。

```
Station: K5HOG 360 deg. 68 mi. 42 km. from user WA5IED
```

検索する局の LAT /LON 情報がデータ・ベースに入力されていない場合はノードの位置情報を利用して次のように表示されます。

```
Station: K5HOG 360 deg. 68 mi. 42 km. from node AB5K
```

検索する局の LAT /LON 情報がデータ・ベースに入力されていない場合は、エンティティの位置情報は次のように表示されます。

```
Country: V7 = Marshall Islands 280 deg. 6206 mi. 3856 km. from user K5HOG
```

Updating Your User Information

SET/NAME コマンドは、ネットワーク・データ・ベース上であなたの名前を更新します。

Example:

set/name Tom

SET/QTH コマンドは、ネットワーク・データ・ベース上であなたQTH情報を更新します。

Example:

set/qth Aichi

SET/LOCATION コマンドは、ネットワーク・データ・ベース上のあなたの緯度/経度位置を更新します。緯度/経度情報はビーム方向およびMUF情報の計算のために使用されます。注:位置情報のために正確なフォーマットを使用してください。

Syntax: SET/Location lat-deg lat-min N/S long-deg long-min E/W

Example:

set/location 30 40 N 97 46 W

SET/HOMENODE コマンドは、ネットワーク・データ・ベース上であなたのホームノードを更新します。

Example:

set/homenode JA2YYF

SET/EMAIL コマンドは、ローカルのノード・データ・ベース上のあなたの電子メールアドレスを更新します。

Example:

set/email ja2mnb@hotmail.com

SET/PHONE コマンドは、ローカルのノード・データ・ベース上のあなたの電話番号を更新します。

SHOW/PHONE コマンドはシスオペだけが利用できます。

Example:

set/phone 123-4567

SET/QRA コマンドは、ローカルのノード・データ・ベース上のあなたのQRAを更新します。

Example:

set/qra 12abcd

Cluster Network Information (クラスターネットワーク情報)

いくつかのコマンドは、DXクラスタ・ネットワークに関する情報を表示することができます。多くのSHOWコマンドは、ユーザーに対しデフォルトで設定され、特にコールサインの入力は必要ありません。

SHOW/CONFIGURATION コマンドは、DXクラスタ・ネットワークの配置を表示します。ノードは、各ノードに接続されたユーザと共にリストされます。コマンドの後にノードコールをパラメーターで設定することにより単一ノードの状況を見ることができます。

Examples:

show/configuration

show/configuration jh2zyy

SHOW/NODES コマンドは、ネットワークの中で接続しているDXクラスタ・ノードのリストを表示します。

Example:

show/nodes

SHOW/USERS コマンドは、ノードに接続されたユーザのリストを表示します。括弧 () に表示されたコールは、ユーザがノードに参加していないことを表示します (SET/NOHERE コマンドを参照)。コールに (*) が付随している場合は、その局がカンファレンスモードであることを表示します。

Example:

```
show/users
```

SHOW/CLUSTER コマンドは、現在のクラスタ配置のノードの数、ユーザの総数およびノードのアップタイムを表示します。

Example:

```
show/cluster
```

SHOW/UPTIME コマンドは、ノードのアップタイムを表示します。

Example:

```
show/uptime
```

SHOW/LOG コマンドは、局がクラスタへのログイン、ログアウトした日付と回数のログデータを表示します。

Example:

```
show/log  
show/log/10  
show/log k5pi  
show/log/10 k5ab
```

SH/VERSION コマンドは AR クラスタソフトウェアのバージョンを表示します。

Example:

```
show/version
```

Keeping the Network Clean

ジョージ・カーリンの 7 語 (プラス何某) は、TV で使用できない言葉 (日本で言う放送禁止用語) です。Carlin フィルタは、ネットワーク上の他のノードから取得するスポットにもユーザ・スポットにも適用されます。それらが制限された言葉を含んでいる場合、ネットワーク上で配信されるスポットは廃棄されます。Carlin 語のうちのどれかがユーザーアナウンスメントに含まれている場合、次のメッセージを受け取るようになります。

Your DX/WX/announce was aborted since it contains restricted language.

さらに、AR クラスタはネットワークを介して問題のスポットを追跡するためにプロトコルを設定してきました。sysops は、DX、アナウンスメント、TALK、WWV および WX のスポットを出所まで検索することが出来ます。追跡コマンドは特別のプロトコルによって、スポット出所までネットワークをさかのぼります。その後、スポットのルート、スポットを配信したユーザかノードと共に sysop に返され表示されます。ユーザーがノードへ TELNET で接続していれば、彼のインターネット・アドレスも表示されます。この機能はクラスタネットワークへの妨害の追跡に多大な貢献をしました。

Cluster Databases (クラスタ データベース)

数種類のデータ・ベースが搭載されていますので、コールサイン情報、QSL 情報あるいは他の一般的なデータ情報を検索することが可能です。DXクラスタ・ノード上に収納されたファイルに基づいていろいろなデータの検索が可能です。

Callsign Lookup

ARクラスタは、コールサイン検索データ・ベース (AR-Technology、Buckmaster、Callbook (RAC) および QRZ) のインターフェースをサポートしています。SHOW/ARTECH、SHOW/BUCK、SHOW/CALLBOOK、SHOW/QRZ および SHOW/HAM のコマンドで、コールサイン・データ・ベースを検索することができます。シスオペは、オン・ラインデータ・ベース四種類を設定しているかもしれません。(JA2YFは、現在 US、VEのデータのみ)

Examples:

show/artech n1mm	(uses the AR-Technology callsign database)
show/buckmaster n1mm	(uses the Buckmaster callsign database)
show/callbook n1mm	(uses the Flying Horse callsign database)
show/qrz n1mm	(uses the QRZ callsign database)
show/ham n1mm	(will use all callsign databases that are on-line)

4つのコールサインデータベースがインストールされていれば、SH/HAM N1MM で下記のように表示します。

Ar-Techology Callsign Database - updated 2/4/2002

Call: N1MM Class:E Expires:05/17/2004

Thomas F. Wagner, 301 Box Mountain Dr, Vernon, CT, 06066

Lat: 41.8 Long:-72.5 Grid: FN31ST Email: tom@n1mm.com

Buckmaster:

Call: N1MM Class:Extra Expires:20040517 Birthday: 10/01/1949

Thomas F Wagner, 301 Box Mountain Dr, Vernon, CT, 06066

County:Tolland Grid: FN31ST Lat: 41.8 Long:-72.5 Email:

tomwagner@mindspring.com

URL: <http://tomwagner.home.mindspring.com/n1mm.htm>

Callbook:

Call: N1MM? Class:E? Expires:05/17/2004

Thomas F Wagner, 301 Box Mountain Dr, Vernon, CT,? 06066

County:Tolland Lat: 41.8 Long:72.5 Email: tomwagner@mindspring.com

QRZ:

Call: N1MM Class:Extra Expires:5/17/04

THOMAS F. WAGNER, 301 BOX MOUNTAIN DR, VERNON, CT, 06066

QSL Lookup

SHOW/QSL コマンドは AR-Technology マスターQSL データ・ベースを検索します。また、登録された QSL マネー

ジャー、住所を表示します。データ・ベースは 250,000 以上の QSL レコードを登録しています。さらに、ローカルの QSL データ・ベースを検索し、ユーザによって入力された情報を表示します。

Example:

```
show/qs1 v73aq
```

下記は、ユーザがローカルクラスタ QSL データ・ベースに情報を入力し、又はクリアするコマンドです。

Example:

```
set/qs1 v73aq via ab5k      (入力)
```

```
clear/qs1 v73aq           (消去)
```

Other Databases

AR クラスタは、さらに数種類のデータ・ベースを構築します。一般的な情報は、素早い検索を行うため専用のテーブルに蓄積されます。近來、インターネットは殆どこの様な特徴を持っています。DB コマンドは利用可能なテーブルを、DB/TABLES コマンドは、システム上でカスタム・データ・ベース・テーブルを、一般コマンドは、全ての利用可能なデータ・ベース検索結果を、DB/SUBJECT コマンドは、目標とする情報を、DB/SUBJECT DETAILS は、選択された詳細な情報を表示します。

Example:

```
Db
```

```
db/mic
```

```
db/mic ken4
```

File Based Data

AR クラスタは、ブリテンファイルを格納する ARCHIVE、BULLETINS、FILES の 3つの記憶用エリアを持っています。シスオペは、ユーザの為にダウンロード用に適切な情報を置くためにも利用します。興味あるものをダウンロードするためにファイルリストが表示されます。驚かなくてもいいです、インターネットの発達によって、今現在はこれが当前なのです。

SHOW/ARCHIVE コマンドは、ARCHIVE エリアのファイルのリストを表示します。

Example:

```
show/archive
```

SHOW/BULLETINS コマンドは、ARCHIVE エリアのファイルのリストを表示します。

Example:

```
show/bulletins
```

SHOW/FILES コマンドは、ARCHIVE エリアのファイルのリストを表示します。

Example:

```
show/files
```

TYPE コマンドは、3つのエリアのうちのどれかのファイルを表示するために使用します。

Example:

```
type/archive newuser.text
```

```
type/bulletins station.txt
```

```
type /files club.txt
```

Mail

クラスタにコネク特していれば個人のメールおよびブリテンメール両方を受受することが出来ます。ブリテンメールは、ALL、FORSALE、WANTED、HELPに出されたメールです。クラスタ切断中に新しいメールが受信されているとノードへ再コネク特した時に通知されるます。

ノードにログインした時、受信メールおよびメッセージ数を送信した局を表示して知らせます。

Examples:

You have new mail from K5AB (3ea)

You have new mail from K5NA (1ea)

New Mail: Personal = 4 Bulletin = 0

Listing Mail

DIRECTORY コマンドは、最新のメッセージを5つ表示します。コマンドで数を指定することにより多く表示することもできます。既読メッセージは、メッセージ番号の隣にハイフン (-) 付け表します。プライベートメッセージは (P) を表示しリストします。

Examples:

directory

dir/10

新しいメールを、確認する場合は、NEW オプションを使用して確認します。

Example:

directory/new

dir/new

自局への MAIL を確認する場合は、OWN オプションを使用して確認します。

Example:

directory/own

dir/own

ブリテンメールを確認する場合は、BULLETIN オプションを使用して確認します。

Example:

directory/bulletin

Subject のついたメールを確認する場合は、SUBJECT オプションを使用確認します。

Examples:

directory/subject meeting

dir/subject hamfest

Reading Mail

メール・メッセージを読む時は、読みたいメッセージの番号を READ コマンドの後に付けます。番号を付けなければ貴局宛の最新のメッセージを表示します。LIST コマンドは、READ コマンドと同様に使用することができます。

Example:

```
read 231
r 231
```

Sending Mail

SEND コマンドは、他の局へのメールメッセージを送るために使用されます。コマンドの後に、コールサイン、`subject`、メッセージを一行ずつ入力してください。ctrl/Z あるいは/EXIT のいずれかで終了します。/PRIVATE コマンドは個人へメッセージを送るために使用します。/RR コマンドは、返信受取(メールが読まれ確認を強要します)を要求します。

/copy コマンドは他の局へ同じメッセージを送るために使用します。メール・メッセージは、Ctrl-Y あるいは/CAnceI コマンドで取り消すことができます。SP コマンドは、SEND/PRIVATE コマンドのためのショートカット使用されます。

Examples:

```
send
send/private
send/rr
send/private/rr
send/private/r
send/copy
sp
```

メール・メッセージは、ALL、FORSALE、WANTED あるいはHELP はブリテンメールになり、ネットワーク接続している全てのノードに送られます。“LOCAL” アドレスを使用すれば接続ノードでとどまります。

Replying to Mail

メール・メッセージに返答するにはREPLY コマンドを使用します。コマンド・オプションは、RR、メッセージを削除するには、DELETE コマンドを使用します。

Examples:

```
reply 12
r 12
reply/delete 12
```

reply/delete/rr
reply/rr

Deleting Mail

DELETE コマンドは、メール・メッセージを削除するために使用します。メッセージ番号のない **Delete** コマンドは、最後に確認したメッセージを削除するでしょう。**KILL** コマンドは **DELETE** コマンドと同様に使用することが出来ます。

Examples:

delete 12
del 12
delete 3,4,5
kill 12

DX Calculations

このコマンドは、DX、コンテストを行う時、有効な情報取得するためのものです。

Sun

SHOW/SUN コマンドは、指定されたエンティティの日の出/日没を表示します。確実にプリフィックスがわからない場合は、コールサインを入力してください。そうすれば、プリフィックスは自動的に決定され表示します。**SHOW/SUN** コマンドは、コールサインの入力無しでもデフォルトであなたのロケーションのサンデータを表示します。**SHOW/SUN** コマンドは、さらに、USコールエリアについてはそれぞれのエリア毎に日の出/日没を表示します。

Examples:

show/sun
show/sun v73c
show/sun k5

SHOW/SUN コマンドは、オプションの日付を付けることによりその日付のデータを取得することもできます。

Examples:

show/sun v73aq=3-15-2001
show/sun =3-15-2001
show/sun JA=3-15-2001

MUF

SHOW/MUF コマンドは、指定されたエンティティの最大使用可能な周波数(MUF)を計算し表示します。あなたが自局の位置を **SET/LOCATION** コマンドで自局情報を設定していれば、**SHOW/MUF** コマンドはデフォルトで自局の MUF を表示します。もし入力していなければ接続しているノードの位置情報を利用し表示します。正確なプリフ

アイコンがわからない場合は、コールサインを SHOW/MUF の後にコールサインを付けてください。そうすれば知りたい情報が表示されるはずです。

Examples:

```
show/muf v73c
```

Maidenhead Grid

SHOW/GRID コマンドは、指定された局のメイデンヘッド・グリッド・ロケータを表示します。

Examples:

```
show/grid ka5eyh
```

Time

SHOW/TIME コマンドは、現在の時間を表示します。エンティティが含まれていれば、現地時間が表示されます。

注: 国のサイズすなわち広大な領土を持っている US、VE に於いては必ずしもこれは当てはまらない場合があるなぜならばローカルタイムがあるからです。

Examples:

```
show/time
```

```
show/time v73c
```

Personalizations

クラスタへの接続は、特に運用に必要な情報を個別化することができます。

Login profiles

通常、ログイン中は、一連のコマンドを実行することができます。今回は、LOGIN 後にコマンドを実行するのではなく、LOGIN/PROFILE を構築することで自動でコマンドを送る設定です。LOGIN PROFILE コマンドは、クラスタ・メールの使用するノードへ送られます。ユーザはクラスタ・メール・メッセージを作成します「LOGIN/PROFILE」の subject、およびコマンドのリストを接続するノードに送信してください。メールを受け取ったノードは、後の実行のためにコマンドを保存し、次回からクラスタは接続されるたびにそのコマンドを実行します。

空の LOGIN/PROFILE メール・メッセージを送ると、以前設定した LOGIN PROFILE コマンドはクリアされます。RF 接続時には、LOGIN/PROFILE をできる限り短くしておくことを推奨します。RF 接続中の多くのトラフィックは転送時にタイムアウトおよび QRM を引き起こす可能性があります。クラスタから 20 行を限度にするように LOGIN/PROFILE を短く設定してください。

LOGIN/PROFILE コマンドには、下記コマンドを使用しないでください。

<Filters, set/beep, set/name, set/location, set/homenode, set/location, set/email>

次のコマンドは使用しても大丈夫です。<DX, ANN, TALK, and WX>

Example:

```
send JA2YF
```

```
subject は login/profile
```

```
本文で sh/dx missed
```

```
sh/wwv
```

```
sh/c
最後に終わりコマンド
/exit
```

メールを送る要領で行ってください。受信しましたらノードから LOGIN/PROFILE updated と返送されます。

Commands

あなたが、無線機の前から離れている場合、SET/HERE, SET/NOH コマンドで他のユーザへ自分の存在の有無を知らせることができます。ネットワーク (SHOW/USER など) 上で接続コマンドの中であなたのコールサインに () を付けて表示します。

Examples:

```
set/here
set/nohere
```

SET/BEEP コマンドは、貴局がコマンドを送る毎にベルキャラクターが送信されます。

Examples:

```
set/beep
set/nobeep
```

SET/LOGIN_ANN コマンドは、ノードにログインした他のユーザの情報を受け取る事ができます。シスオペは、このコマンドを永久に利用できなくする権利を持っています。

Examples:

```
set/login ann
set/nologin ann
```

Command Macros

AR クラスタはさらにマクロのコマンド能力を備えています。0から9までのキーによってマクロとしてユーザ設定できます。マクロはコマンド・エンジンの中で拡張定義されたショートカットです。マクロは、SET/MACRO コマンドで設定しマクロキーナンバーの0から9までを割り当てます。0から9の文字はそのユーザに定義されたマクロ定義と変換され格納されたMESSAGEが送出されます。SHOW/MACRO コマンドはユーザに定義されたマクロを表示します

Examples:

```
set/macro 1=sh/dx
set/macro 2=sh/www
sh/macro
```

Filters

AR クラスタノードは、ローカルDXスポット、はじめ世界各国より提供されたDXスポットがインターネットをバックボーンにした回線に接続され配信されています。コンテスト期間中には、48 時間の間に 40,000 以上のDXスポットを実行します。スポットをフィルターを通し希望するものだけを抽出し表示することもできます。たとえばアメリカのような大きなエリアからのスポットをそして州毎のレベルで、又はエンティティ毎の情報を詳細にフィルターリングする機能を内蔵しています。DXスポットを、ノード/スポットのエンティティ、バンド/モード、WXおよびアナウンスメントに対しフィルターリングすることもできます。

下記コマンドはユーザ・フィルタをすべてリセットするためのものです。無効のフィルタ・コマンドを入力したのではないかと疑問に思う場合は、フィルタをリセットしてください。

set/nofilter

下記コマンドは、自身が設定したユーザ・フィルタをすべて表示するためのものです。

show/filter

下記コマンドは、DX、アナウンスメント、およびWXのフィルタを設定するためのものです。あなたが、米国およびVEからのDX、アナウンス、WXの情報をみたい場合は簡単に設定することができます。コマンドは、DXエンティティ、BandMode、KeyWord および州レベル・フィルタを設定します。

set/filter K/pass

米国とVEの局からの、DX、ANN およびWXの設定です。

set/filter K,VE/pass

DX Spot Origination Filter

最も使用されるポピュラーなフィルタは、DXスポットフィルタです。DXスポットターのエンティティ、米国の州に基づいてフィルタされます。このフィルタは、ユーザー自身がコントロールするものであり、北米のような広大なエリアでは、よりよいアンテナシステムを設置している局は、全ての情報を、アンテナの小さな局は、その限られたエリアの情報を取得したいと思っているかもしれません。ビッグガン、マルチステーションは、それぞれのオペレーターが世界中の情報をバンド毎に情報を取得したいと思っているかもしれません。スポットは、通常全てPASSモードです。指定したエリアからの情報を取得したくない場合はREJECTモード設定します。指定方法は、エンティティは、ARRL.CTY カントリー・リスト・ファイル、米国の州は、郵便に使用される標準略語2文字より指定されます。DXスポットフィルタの様々なオプションは下記に例を挙げておきます。米国の州フィルターを使用する場合は、カントリーフィルターも併せて設定しなければなりません。

アメリカ、メキシコおよびカナダから起こるスポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxorigcty/pass k,xe,ve

set/filter dxorigstate/off

or

set/filter doc/pass k,xe,ve

set/filter dos/off

テキサス、オクラホマおよびアーカンソー州からDXのスポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxorigcty/pass k

set/filter dxorigstate/pass tx,ok,ar

or

set/filter doc/pass k

set/filter dos/pass tx,ok,ar

米国4、5エリアからのDXスポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxorigcty/pass k

set/filter dxorigstate/pass k4,k5

or

set/filter doc/pass k

set/filter dos/pass k4,k5

カリフォルニアおよび米国 7 エリアの情報を削除して米国からの DX スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxorigcty/pass k
set/filter dxorigstate/reject k6,k7
or
set/filter doc/pass k
set/filter dos/reject k6,k7

世界中の DX スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxorigcty/off
set/filter dxorigstate/off
or
set/filter doc/off
set/filter dos/off

下記コマンドであなたの現在の DX スポットフィルタを検索することができます

show/filter dxorigcty
or
show/filter doc
show/filter dxorigstate
or
show/filter dos

Announce Spot Origination Filter

アナウンススポットフィルタはスポッターのエンティティおよび州に基づいてフィルタリングします。フィルタは、ユーザが自分自身で必要とする情報のみをコントロールすることができます。デフォルトでは PASS モードに設定されています。指定したエリアからの情報を取得したくない場合は REJECT モード設定します。指定方法は、エンティティは、ARRL CTY カントリー・リスト・ファイル、米国の州は、郵便に使用される標準略語 2 文字より指定されます。DX スポットフィルタの様々なオプションは下記に例を挙げておきます。米国の州フィルタを使用する場合は、カントリーフィルタも併せて設定しなければなりません。

アメリカ、メキシコ、カナダからのアナウンススポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter annorigcty/pass k,x,e,ve
set/filter annorigstate/off
or
set/filter aoc/pass k,x,e,ve
set/filter aos/off

テキサス、オクラホマ、アーカンソーからのアナウンススポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter annorigcty/pass k
set/filter annorigstate/pass tx,ok,ar
or
set/filter aoc/pass k
set/filter aos/pass tx,ok,ar

一部省略します。

世界中のアナウンススポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter annorigcty/off  
set/filter annorigstate/off  
or  
set/filter aoc/off  
set/filter aos/off
```

下記コマンドであなたの現在のアナウンススポットフィルタを検索することができます。

```
show/filter annorigcty  
or  
show/filter aoc  
show/filter annorigstate  
or  
show/filter aos
```

Wx Spot Origination Filter

WX スポットフィルタは、スポッターのエンティティおよび州に基づいてフィルタリングします。フィルタは、ユーザが自分自身で必要とする情報のみをコントロールすることができます。デフォルトではPASS モードに設定されています。指定したエリアからの情報を取得したくない場合はREJECT モード設定します。指定方法は、エンティティは、ARRL CTY カントリー・リスト・ファイル、米国の州は、郵便に使用される標準略語2文字より指定されます。WX スポットフィルタの様々なオプションは下記に例を挙げておきます。米国の州フィルターを使用する場合は、カントリーフィルターも併せて設定しなければなりません。

アメリカ、メキシコ、カナダからのWX スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter wxorigcty/pass k,x,e,v  
set/filter wxorigstate/off  
or  
set/filter woc/pass k,x,e,v  
set/filter wos/off
```

テキサス、オクラホマ、アーカンソーからWX スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter wxorigcty/pass k  
set/filter wxorigstate/pass tx,ok,ar  
or  
set/filter woc/pass k  
set/filter wos/pass tx,ok,ar
```

一部省略します

世界中のWX スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter wxorigcty/off  
set/filter wxorigstate/off
```

or
set/filter woc/off
set/filter wos/off

下記コマンドで、現在のWXスポットフィルタを検索することができます。:

show/filter wxorigcty

or
show/filter woc

show/filter wxorigstate

or
show/filter wos

DX Spot Band-Mode Filter

DXスポット・バンドモード・フィルタは、運用バンドおよびモードによるスポットフィルタリングを設定します。バンドは160、80、40、20、17、15、12、10、6、2、1、70、VHF、UHFおよびMW(マイクロ波)です。モードはCW、RTTYおよびSSBです。30MHz以上のスポットを拒絶し、また、30MHzより下のスポットを拒絶したい時にバンドモードフィルターを使用します。。通常はデフォルトで、バンドモード・フィルタはPASSモードに設定されています。REJECTモードでは、スポットから、1つの、あるエリア、選択されたエリアからのスポットを拒絶します。ユーザは、スポット周波数によってモードが決定されます。コンテスト中には、それらのモードのための通常運用される周波数範囲であるにもかかわらず通常のモードと異なるモードでの運用があることを覚えておいて欲しいと思います。例えば、CWの局が通常RTTY運用されている周波数で運用している場合は、フラグはRTTYとして表示されます。スポットDXバンドモード・フィルタの様々なオプションの例は下記を参照してください。

20メーターのスポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxbandmode/pass 20-cw,20-rtty,20-ssb

or
set/filter dxbm/pass 20-cw,20-rtty,20-ssb

20メーター、および40メーターのCWスポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxbandmode/pass 20-cw,40-cw

or
set/filter dxbm/pass 20-cw,40-cw

HFのスポットだけを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxbandmode/reject vhf,uhf,mw

or
set/filter dxbm/reject vhf,uhf,mw

VHF、UHFおよびマイクロ波スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

set/filter dxbandmode/pass vhf,uhf,mw

or
set/filter dxbm/pass vhf,uhf,mw

6 メーターのスポットだけを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxbandmode/pass 6-CW,6-SSB,6-FM  
or  
set/filter dxbm/pass 6-CW,6-SSB,6-FM
```

30 メーターのスポットだけを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxbandmode/pass 30-CW,30-RTTY  
or  
set/filter dxbm/pass 30-CW,30-RTTY
```

VHF、UHF およびマイクロ波スポットを受け取るコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxbandmode/reject vhf,uhf,mw  
or  
set/filter dxbm/reject vhf,uhf,mw
```

バンドモード・フィルタリングを解除するコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxbandmode/off  
or  
set/filter dxbm/off
```

現在のバンドモード・フィルタリングを検索するコマンドは次のとおりです。

```
show/filter dxbandmode  
or  
show/filter dxbm
```

特別コマンドは、160、80、40、20、15 および 10 メーターのコンテスト・バンドのスポットをすべて拒絶する DX バンド・モード・フィルタをセット・アップすることができます。

```
set/filter hf/cw  
set/filter hf/ssb  
set/filter hf/rtty  
set/filter hf/off
```

DX Spot CTY Filter

スポットカントリーフィルタは、スポットカントリー毎に DX スポットがフィルタリングされます。カントリーは ARRL CTY ファイルに基づいて決定されます。DX スポット CTY フィルタは、スポットを通過させる PASS モード、スポットを拒絶する REJECT モードがあります。スポット CTY フィルタの様々なオプションを実証する下記の例によります。

アメリカを除いて DX スポットをすべて表示させるコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxcty/reject k
```

米国、メキシコおよびカナダを除いて DX スポットをすべて表示させるコマンドは次のとおりです。

```
set/filter dxcty/reject k,x,ve
```

米国、メキシコおよびカナダからの DX スポットをすべて表示させるコマンドは次のとおりです。

set/filter dxcty/pass k,x,e,v

DXのCTYフィルタをすべて切るコマンドは次のとおりです:

set/filter dxcty/off

DXCTYフィルタの現在のセッティングを表示するコマンドは次のとおりです:

show/filter dxcty

DX Spot Keyword Reject Filter

DXスポット・キーワード、フィルタを、指定したキーワードがコールサインフィールドに含まれている場合、スポットは拒絶されます。

set/filter dxkeyword/reject /bust (reject spots with /bust in the callsign)

or

set/filter dxkw/reject /bust (reject spots with /bust in the callsign)

set/filter dxkeyword/reject /bust,video (reject spots with /bust or video in the callsign)

or

set/filter dxkw/reject /bust,video (reject spots with /bust or video in the callsign)

set/filter dxkeyword/off (turn the keyword reject filter off)

or

set/filter dxkw/off (turn the keyword reject filter off)

show/filter dxkeyword (show the keyword reject filter)

or

show/filter dxkw (show the keyword reject filter)

DX Needs Database and Filters

AR クラスタは、ユーザが必要としているデータ・ベースを搭載しています。スポット・フィルタリングで、あなたの必要なDXスポットを表示することができます。SET/FILTER NEEDS コマンドはあなたのニーズをセットするために使用され、ニーズは、CW、SSB および RTTY の各モードで設定することができます。フィルタコマンドの最初の文字が+である場合、データはニーズへ追加されます、そうでなければリストする、既存のリストが上書きされます。ニーズのプリフィックスは、ARRL CTY カントリー・リストに基づきます。

set/filter dxneeds/ssb 3d2/r,3y/b,bv9p,jd/o,jd/m

set/filter dxneeds/rtty r1mv,sv5,t33,zk1/n

set/filter dxneeds/cw +r1fj,vp8/h,jy,zs8,vu4,vu7

下記コマンドで必要に基づいてスポットの表示をon、off、することができます

set/filter dxneeds/off

set/filter dxneeds/on

下記コマンドであなたが設定されたニーズ・リストを表示することができます

show/filter dxneeds

さらに、他のステーションあるいは特定のコントリープリフィックスを見るニーズ・データベースを検索することができます。必要とするモード(CW、SSB、RTTY)を指定しても検索することができる。

あなた下記コマンドで別のステーションの必要を示すことができます。

show/ dxneeds k1ttt

show/ dxneeds/ssb k1ttt

下記コマンドでマーシャル諸島を表示することができます:

show/ dxneeds V7*

Overview of AR-Cluster User Commands

以下のリストはAR-CLUSTERのコマンドの要約です。コマンドの大文字部分が必ず入力してください。コマンドの小文字部分は任意です。例えば、A/F というコマンドは、ANNOUNCE /FULL と同じコマンドです。

Announce	コネクしているローカルユーザーへアナウンスします
Announce/Full	ネットワークへコネクしているユーザー全てへアナウンスします
Bye	クラスターを切断します
CLEAR/QSL	ローカルQSLdatabaseからQSL情報を削除します
CONFERENCE	ローカルの会議モードに入ります
CONFERENCE/Full	ネットワーク上で会議モードに入ります
DB	D atabase情報を作成します
DEelete	mailを削除します
Directroy	メールメッセージを表示します
Dx	D X 情報を入力します。 ex, DX FREQ, CALL comment
Help	コマンドのヘルプ
List	メールメッセージのリストを表示します
Quit	クラスターへの接続を切断します
Read	メールメッセージを読みます
REPLY	メールメッセージに返事をします

Send	メールメッセージを送ります
SEt/ANNouncements	アナウンスの切り替えをします
SEt/BEep	DX、アナウンス情報を受信したときにBEEP音を鳴らします
SEt /DX_Announcements	DX情報を受信可能にします
SEt/DXSqth	DX情報提供者のQTHを表示します
SEt/EMAIL	自身のEMAILアドレスを登録します
SEt /FILTER	SPOTFILTERを設定します
SEt /HEre	シャックにいます
SEt /HOMenode	ホームノードを設定します。 e.g.: SE/HOM ja2yyf
SEt /LOCAtion	自局の緯度経度を設定します
SEt /LOGIn_announcements	ログイン情報が来ます
SEt /Name	自局の名前を設定します。
SEt/NOAnnouncements	アナウンスが不必要な場合設定します。
SEt /NOBeep	ビーブ音が鳴らないようにします
SEt /NODX_Announcements	DX情報が必要ない場合設定します。
SEt/NODXSqth	DX情報のエンティティーの表示が必要ないときに設定します
SEt /NOHere	シャックから離れるときに設定します
SEt /NOLOGin_announcements	ログイン情報必要ないときに設定します。
SEt/NOTalk	トークメッセージが必要ないとき設定します。
SEt/NOWWV_announcements	WWV情報が必要ないとき設定します。
SEt/NOWX_announcements	WX情報が必要ないとき設定します。

Set/PHONE	自局の電話番号を設定します。
Set/QRA	自局名を設定します(日本ではまず利用されてません)
Set/QSL	QSL情報をノードへ送ります
SEt /QTH	自局の住所等を設定します。
SEt/TAlk	トーク情報を表示する時設定します。
SEt/WWV_announcements	WWV情報が必要なとき設定します。
SEt/WX_announcements	WX情報が必要なとき設定します。
SHow/ANnounce	過去のアナウンス情報を閲覧します
SHow/ARCHive	アーカイブフォルダーを閲覧します。
SHow/BUCmaster	コールサインを閲覧します(バックマスターハムコール)
SHow/BULLEtins	ブリテンフォルダーを閲覧します(JA2YYFでは設定無し)
SHow/CBA	コールサインを閲覧します(RAC コールブック)
SHow/CLuster	クラスター情報を表示します
SHow/Configuration	ネットワーク上のユーザーを表示します
SHow/Dx	過去のDX情報を表示します。
SHow/Dx SQL	Query for past DX using SQL
SHow/EMAIL	ユーザーのE-mailアドレスを表示します。
SHow/FDx	SH/DXコマンドのフォーマットを表示します。
SHow/FILEs	Show the files in the files folder
SHow/FILTER	自局に関するフィルター情報が表示されます
SHow/FTTu	SH/ITUのフォーマットが表示されます。

SHow/FZOne	SH/ZONEのフォーマットが表示されます
SHow/Grid	グリッドロケーターが表示されます。
SHow/HAM	コールサインを閲覧します。
SHow/Heading	距離方向を表示します
SHow/HOMENode	ユーザーのホームノードが表示します。
SHow/ITu	DX局のITUを表示します
SHow/LOCation	DX局の緯度経度を表示します。
SHow/LOG	ログイン情報が表示されます。
SHow/Muf	MUFが表示されます。
SHow/NEeds	必要なエンティティーが表示されます。
SHow/NOdes	ノードリストを表示します。
SHow/Prefix	プリフィクス情報を表示します。
Show/QRA	局名情報を表示します。
SHow/Qsl	QSL情報を表示します。
SHow/STation	指定した局の情報が表示されます
SHow/Sun	sunrise/sunset 情報が表示されます。
SHow/TAlk	過去のトーク情報が表示されます。
SHow/TIme	時間情報が表示されます
SHow/TIP	Show a tip about using the cluster
Show/UPTime	ノード稼働時間が表示されます。
SHow/Users	ノードに接続されているユーザーを表示します。

SHow/Version	AR-CLUSTER のバージョンを表示します
SHow/WWV	過去のWWV情報を表示します。
SHow/WX	過去のWX情報を表示します。
SHow/WXStation	weather station を表示します
SHow/Zone	過去のDX情報を表示します(CQ ZONE上にて)
Talk	トークするときに使用します
Talk/Timestamp	トーク時にタイムスタンプを付けます。
Type/ARChive	Display a file in the archive folder
Type/BULletins	Display a file in the bulletin folder
Type/FILes	Display a file in the files folder
Wwv	WWV 情報を送ります。
WX	ローカルのWX情報を送ります。
WX/Full	ネットワーク上へWX情報を送ります。